

平成27年度 事業報告書

平成27年度においては、JR各社のご助成と鉄道弘済会のご援助により計画した事業を予定どおり実施することができました。

各事業の概況は次のとおりです。

1. 低利融資事業（第一種社会福祉事業）

身障者の生活を維持向上させるため、経済的に援助することを目的として、昭和27年に開始されました。

当時、国鉄から200万円、鉄道弘済会から400万円のご寄付をいただき資金が設けられました。その後、鉄道弘済会からの特別助成等により、現在資金は5,904万円となっております。

なお、前年同期に比較して貸付残高件数は1件の減、金額で330千円の減となっております。

2. 更生相談事業（第二種社会福祉事業）

中央及び地方協会が相談に応じた実績は下表の通りである。

方法・内容	融資	生活	職業	年金等	医療	補装具	就学	共済他	計
面接	1	1	0	6	8	57	0	5	78
通信	3	25	1	30	11	44	0	165	279
訪問	0	37	0	21	1	22	0	55	136
計	4	63	1	57	20	123	0	225	493

(注) 取扱期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

前年同期に比べ175件の減となっており、相談件数の合計は493件でした。これは、主に九州鉄道身障者協会の共済他相談（通信）が減少した結果です。

3. 顕彰事業（公益を目的とした事業）

(1) 身障者下山賞表彰は、昭和24年故下山国鉄総裁のご遺族から贈られた寄付金をもとに、国鉄の業務上の事故により身体に障害を負った者の自立の努力による功績を顕彰するために設けられたものであります。

当年度は、第66回を迎え、10月23日弘済会館（東京都千代田区・麴町）において5名の方々の表彰を行いました。

なお、受賞者には協会から賞状と記念品が贈られたほか、JR各社から記念品が、また鉄道弘済会から記念品と賞金が贈られました。

東日本鉄道身障者協会	豊村美恵子氏	88歳	右上腕切断	私傷・3級
東日本信越鉄道身障者協会	大田浩氏	81歳	右上腕切断	公傷・4級
西日本鉄道身障者協会	山岸正光氏	68歳	右大腿1/2以上切断	業災・4級
四国鉄道身障者協会	氏家美德氏	76歳	右大腿切断	業災・4級
九州鉄道身障者協会	桑野嘉典氏	71歳	左大腿1/2以上切断、 右下腿1/2以上切断	業災・2級

(2) 特別功労賞

平成14年、鉄道身障者福祉協会創立50周年記念として、地方協会の発展に特段に功労のあった会長又は地方協会三役として永きにわたり会長を支え、会長に準ずるような功労のあった者等を表彰する制度を設けた。

平成27年度は、次の方を受賞者と決定し、第2回評議員会の席上に於いて表彰式を行なった。

東海鉄道身障者協会 鈴木 徹男 氏 68歳

(3) 鉄道90年記念奨励賞の表彰は、昭和37年鉄道開業90周年の記念事業として設けられた顕彰行事で、当時国鉄から300万円、鉄道弘済会から200万円のご寄付を頂き、これを基金として創設されました。

現在基金は1,133万円となっております。

当年度は、第53回を迎え次の方々が受賞されました。

また、席上「鉄道90年記念奨励賞」に該当した5名の方々の発表を行い、平成2年度から協会運営に功績のあった者の表彰である「鉄道身障者福祉協会 功労者」表彰では7名の受彰者の発表を行った。

今年を受賞者は、次の方々ですが、第4号懸賞作品の課題は、【「その日に向かって」ー東京パラリンピックについて考えてみようーで応募総数は33篇でした。入賞と佳作の作品は、当協会発行の身障者福祉専門誌「リハビリテーション」平成27年11月号 (No. 578) に掲載しました。

第53回鉄道90年記念奨励賞受賞の選考

地方協会から推薦を受けた第1号職業開拓及び第4号の懸賞作品について、平成27年8月27日開催の選考委員会において、次の方々を受賞者と決定しました。

(敬称略)

種 別	氏 名	年 齢	障 害 状 況	職 業	協 会 名
第 1 号 職業開拓	桑野 敬地	84歳	左大腿・右足甲 切断	無職	九州 鉄道身障者協会

(敬称略) 第4号 懸賞作品

種別	氏名	年齢	障 害 状 況	職 業
第 1 位	三浦 律子	35歳		主 婦
第 2 位	井上 奈美江	41歳	両耳全聾	主 婦
第 3 位	細江 隆一	47歳		公 務 員
第 3 位	宮澤 誠一	63歳	パーキンソン病による歩行 障害	会社役員

なお、第4号の第1位入賞者は、辻理事長から、第2位・第3位は、郵送にて表彰状と賞金が贈呈されました。

4. 出版事業

当協会の発行する身障者福祉専門誌「リハビリテーション」は昭和28年に創刊して当年度末で581号を数えます。発行回数は年10回で毎号あたり3,500部発行している。なお、公益財団法人鉄道弘済会のご援助をいただき、全国の施設・JR各本社及び主要駅等にも贈呈を行っている。

- 平成27年 4月号 (No572) はたらく―就労の支援―
- 平成27年 5月号 (No573) はたらく―就労の現場から―
- 平成27年 6月号 (No574) おでかけ―私の外出紹介 ①
- 平成27年 7月号 (No575) おでかけ―私の外出紹介 ②
- 平成27年8・9月号 (No576) 高齢を迎えて―そのとりまく環境 ①
- 平成27年10月号 (No577) 高齢を迎えて―そのとりまく環境 ②
- 平成27年11月号 (No578) 懸賞作品特集
「その日に向かって」―東京パラリンピックについて考えてみよう
- 平成27年12月号 (No579) わが子とのふれあい―成長していくなかで―①
- 平成28年 1月号 (No580) わが子とのふれあい―成長していくなかで―②
- 平成28年2・3月号 (No581) 障害者差別解消法 ①

5. 義肢製作費補助事業

鉄道従事者に肢切断による公務障害者が多いことから、鉄道弘済会では義肢を製作する場合に障害者本人が負担する経費を補助する制度を設けていましたが、当協会の会員の利用が多いことなどから昭和62年に制度の移管を受けたものです。当年度中の取扱件数は30件で、給与した金額は458千円となっております。これは前年度と比較して件数は23件の減少、金額は265千円の減少となっております。

6. 共済事業

現在基金は、45,594千円です。平成28年3月末日現在の給付実績は件数で72件、金額で1,300千円。前年同期比では、件数で25件の減、給付金額で240千円の減となっております。

内訳で見ると、弔慰金で3件の減、金額では20千円の減、傷病見舞金は22件の減、金額では220千円の減です。

なお、傷病見舞金は平成27年3月31日で終了のため経過措置分のみです。

7. JR会社増収協力活動

かねてより当協会会員に対し、JR会社への増収協力を呼びかけておりますが、地方協会でも工夫を重ね旅行会を実施する等努力をしております。

当年度中の実績は次のとおりです。

(単位：千円)

期別	件数	延人員	金額
上期分	769	1,723	18,631
下期分	871	1,705	20,894
27年度計(A)	1,640	3,428	39,525
26年度計(B)	1,503	3,296	39,485
増減(A)－(B)	137	132	40

資金収支計算書

(自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

勘定科目		予算	決算	増減
事業活動	収 事業活動収入計	49,678	51,995	△ 2,317
	支 事業活動支出計	50,024	49,717	307
	活動資金収支差額	△ 346	2,278	△ 2,624
施設整備等	収 施設整備等収入計	0	0	0
	支 施設整備等支出計	0	0	0
	施設整備等資金収支差額	0	0	0
その他	収 その他の活動収入計	4,117	0	4,117
	支 その他の活動支出計	5,332	0	5,332
	その他の活動資金収支差額	△ 1,215	0	△ 1,215
予備費支出		553	0	553
当期資金収支差額合計		△ 2,114	2,278	△ 4,392
前期末支払資金残高		161,974	163,473	△ 1,499
当期末支払資金残高		159,860	165,751	△ 5,891

事業活動計算書

(自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

勘定科目			本年度決算	前年度決算	増減
サービス活動	収益	サービス活動収益計	47,586	50,985	△ 3,399
	費用	サービス活動費用計	47,071	48,825	△ 1,754
	サービス活動増減差額		515	2,160	△ 1,645
サービス活動外	収益	サービス活動外収益	4,408	1,343	3,065
	費用	サービス活動外費用計	2,782	0	2,782
	サービス活動外増減差額		1,626	1,343	283
経常増減差額			2,141	3,503	△ 1,362
特別増減	収益	特別収益計	33,710	△ 3,793	37,503
	費用	特別費用計		△ 3,773	3,773
	特別増減差額		33,710	△ 20	33,730
当期活動増減差額			35,851	3,483	32,368
繰越活動	前期繰越活動増減差額		24,088	21,838	2,250
	当期末繰越活動増減差額		59,939	25,321	34,618
	基本金取崩額		736	762	△ 26
	次期繰越活動増減差額		60,675	26,083	34,592

貸借対照表

(平成28年3月31日)

勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	166,973	164,406	2,567
固定資産	10,722	10,859	△ 137
資産の部合計	177,695	175,265	2,430
流動負債	1,924	1,634	290
固定負債	0	0	0
負債の部合計	1,924	1,634	290
基本金	115,095	149,542	△ 34,447
次期繰越活動増減差額	60,675	24,088	36,587
(うち当期活動増減差額)	35,851	3,484	32,367
純資産の部合計	175,770	173,630	2,140
負債及び純資産の部合計	177,695	175,265	2,430

注1) 平成25年度から新会計基準に移行。

注2) 共済会計(特別会計)と合算。

注3) 千円未満切捨て(単位:千円)

財 産 目 録 (総括)

(平成28年3月31日)

資 産 ・ 負 債 の 内 容	合 計
I 資産の部	
1 流動資産	166,974
現金預金	98,538
現金	112
預金	98,426
普通預金	98,032
振替預金	394
有価証券	64,798
未収金	1,830
雑誌広告料・購読料・貸付利子	
前払金	
貸付金	1,961
仮払金	548
仮払金	0
給付準備金	548
徴収不能引当金	△ 701
流動資産合計	166,974
1 固定資産	10,723
(1) 基本財産	10,461
基本財産特定預金	10,461
(2) その他の固定資産	262
ソフトウェア	262
固定資産合計	10,723
資産の部合計	177,697
II 負債の部	
1 流動負債	1,925
未払費用	1,923
預り金	2
雑誌広告料・購読料・貸付利子	
流動負債	1,925
2 固定負債	
固定負債合計	
負債の部合計	1,925
差引純資産	175,772

注1) 平成25年度から新会計基準に移行し、共済会計(特別会計)と合算している。

注2) 千円未満切捨て(単位:千円)

監事監査報告書

平成28年5月26日

社会福祉法人 鉄道身障者福祉協会
理事長 辻 等 殿

1. 理事の業務の執行状況について

次の理事会における理事の業務の執行状況について把握した。

- (1) 平成27年度 第1回理事会 (平成27年4月1日)
- (2) 平成27年度 第2回理事会 (平成27年5月28日)
- (3) 平成27年度 第3回理事会 (平成27年9月8日)
- (4) 平成27年度 第4回理事会 (平成27年10月22日)
- (5) 平成27年度 第5回理事会 (平成28年2月17日)
- (6) 平成27年度 第6回理事会 (平成28年3月17日)

2. 法人の財産について

- (1) 財産目録 (平成28年3月31日現在)
- (2) 貸借対照表 (平成28年3月31日現在)
- (3) 資金収支計算書 (自平成27年4月1日至平成28年3月31日)
- (4) 事業活動計算書 (自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

以上、平成27年度の社会福祉法人鉄道身障者福祉協会の事業報告書、財産目録、貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動計算書については、関連する法令及び通知に従った監査の結果、適正に執行されていると認めます。

社会福祉法人 鉄道身障者福祉協会

監事

川上 香夫



監事

戸田 下作



監事

奥田 明光

